

「今」「この瞬間」輝いている
 ＊あなたを応援します＊

私は小学4年生の時に猪名川町に引越してきたことがきっかけでスリングと出会いました。初めはルールも何もわからなくて、ただ必死に皆んなについていくだけでした。でも練習していくうちに少しずつスリングのことがわかりました。頃から楽しくなってきました。しかし試合では全然勝てずに1回戦負けや2回戦負けばかりでした。それがとても悔しかったことを今でも覚えています。「いつか絶対に優勝するぞ!!」と思い仲間達と練習を頑張ったおかげで、6年生の時には全国優勝することができました。スリングを更に追求できる環境を求め、中学からは親元を離れました。慣れない生活と厳しい練習に何度もくじけそうになりましたが、猪名川スリングクラブで教わった「諦めない心」を思い出し、乗り越えてきました。

今年初めて国際大会に出場する事ができました。「日の丸」のユニ

フォームを渡された時に「日本の代表」として試合に出る重みを感じました。アジア大会はインドで行われたので食事に特に気を使いました。外国の選手は手足が長くて、とてもやりにくかったです。もちろん緊張もしましたが「ここまでできたならヤルしかない!」と思い、頑張りました。優勝できた時は本当に嬉しかったです。8月にはボスニアヘルツェゴビナでの世界大会に出場しました。インドと違って時差が7時間もあり時差ボケでしんどい中での試合だったのですごく疲れましたが、何とか優勝できてホッとしました。

まだまだ私のスリング人生は始まったばかりなので、もっともっと強くなれるように、日々頑張っていきます。



清水 美海さん (原・14歳)
 松尾台小学校 (猪名川スリングクラブ) → 京丹後市立網野中学校 (3年・現在)



まだ私のスリング人生は始まったばかりなので、もっともっと強くなれるように、日々頑張っていきます。



※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

私のオススメ★

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～

身近にある道標

今月の担当ガイド



岡本 久乃さん

多田銀銅山がこの秋にも国の史跡になります。そこで、まずは銀山ゆかりの道標を紹介しましょう。

道標とは、通行人の便宜のために、方向や距離などを記して道端に建てる道案内の石標のことです。

三草山の才の神峠、能勢町長谷と猪名川町仁部の峠道に、江戸時代に建てられた「南無妙法蓮華経」の石標とともに寛文11(1671)年に建立された道標には、「銀山ありま」と書かれています。このように、道標の中には、単に道案内の役割だけでなく、お経や梵字が書かれたものや、佛像や名所、名物が彫られたものもあります。旅の安全や、供養の意味も込めて建てられたものでしょうか。



①「妙見・三田」

また、私の身近なところでは、日生中央から静思館に向かう途中の原に、「妙見・三田」と自然石に彫られた小さな道標をガードレールの下に見ることが出来ます。まんか旅館の近くにも、「右妙〇・左笹〇」と半分埋もれた道標があり、その横に「指



②「原荒神・撰津名松 善福寺」

銀山には、「中谷村役場へ廿丁(約2キロ)、六瀬村木津へ一里(約4キロ)、西谷村大原野へ一里、豊太閤瓢箪鉢山水拔廣芝吹屋裏」と四方向を矢印で示した道標が建っています。近代になって建てられたと推測されていますが、この頃、一般にはまだ尺貫法で表記されていたことがわかります。

さしマークと山下妙見道の道標があります。面白いのは、「原荒神・撰津名松 善福寺」と彫られていることです。道標が建てられた頃、原の善福寺には、遠くからも多くの人が見にくるほどの見事な松の木があったことをうかがうことができます。猪名川町の木、松のシンボルリーがこの辺りにあったのかもしれない。

散歩の時に、少し視線を下に向け、家の近くの道標を探して歩くのも楽しいものです。



▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766-8709

道の駅 いながわだより

猪名川町名物がリニューアル!

いなぼうはるさめ



10月より、特産品である即席カップ麺「しし肉はるさめ」の商品名とパッケージが新しく変わりました。町のイメージキャラクターいなぼうを使用し、宝

塚大学造形芸術学部の皆さんの協力で、親しみを持ってもらえるデザインになりました。

濃厚な赤味噌風味のスープに地元の猪肉と、野菜を加えヘルシーな春雨と合わせたばたん鍋風はるさめは、お土産品の中でも人気が高く、さらなる販売拡大を目指します。

皆さんも、ぜひ食べてみてください!

価格は1個350円、3個セット1,000円で道の駅で好評発売中!

▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767-8600



大島小学校

「花の大きさをかえたりかたつむりを親子にする工夫をしました。」
 井下拓海さん(3年)

があれこ

「4つの字のバランスを考えて書きました。」「あ」を頑張りました。
 小林有沙さん(5年)

飛ぶ

六年 田中月菜

「絵の具の混色で、本物そっくりな色を作りました。」
 須川葵さん(4年)

「飛ぶ」の、はねる所やとめる所などを、気を付けてながら書きました。
 田中月菜さん(6年)

こども作品コーナー